

**平成23年度
日本短角種生産費調査
報告書
—要約版—**

平成24年2月

alic 独立行政法人農畜産業振興機構

1 調査の目的

日本短角種については、農林水産省で実施されている統計調査において、生産実態が十分に把握されていないため、日本短角種の収益性等の検討に必要な資料の整備を図ることを目的として、子牛・肥育牛に関する生産費調査を実施したものである。

2 調査の内容

日本短角種の繁殖・肥育経営者 35 戸を対象として、農林水産統計に準じ、経営概況、生産コスト等について現地実態調査を行い、規模別に生産費をとりまとめた。

3 調査対象の選定

調査対象経営体数

- ・ 繁殖経営 : 16
- ・ 繁殖・肥育一貫経営 : 19

調査対象頭数

- ・ 子牛 : 204 頭
- ・ 肥育牛 : 604 頭

4 調査対象の期間

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 1 年間

5 調査の方法

調査は、面接聞き取りにより実施した。

6 利用上の留意点

(1) 生産費の算出方法

肥育牛生産費：肥育部門の生産費を当該年度肥育牛販売頭数で除して、1 頭当たりの生産費を算出したものである。

子牛生産費：繁殖部門の生産費を当該年度子牛販売頭数で除して、1 頭当たりの生産費を算出したものである。

(2) 家族労働費

日本短角種に係わる家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業及び運輸業・郵便業に属する 5～29 人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて算出したものである。

1 子牛生産費

日本短角種の子牛1頭当たり生産費は、平成22年度は、275,453円となっている。内訳は飼料費が19.8%、労働費が39.3%、減価償却費が9.6%、放牧預託費（種付費含む）が7.2%、獣医師料・医薬品費が1.8%、その他が22.3%となっている。

なお、1頭当たりの所得は、16,253円となっている。前年度（27,804円）と比べて、生産費総額は減少したものの、子牛の販売価格が低下したため1頭当たりの所得は減少した。

平成22年度の1頭当たりの所得は、16,253円＝183,480円－(275,453円－108,226円)

1頭当たり所得は、粗収益（子牛販売価格）－（生産費総額－労働費）により算出

図1 日本短角種の子牛1頭当たり生産費の推移

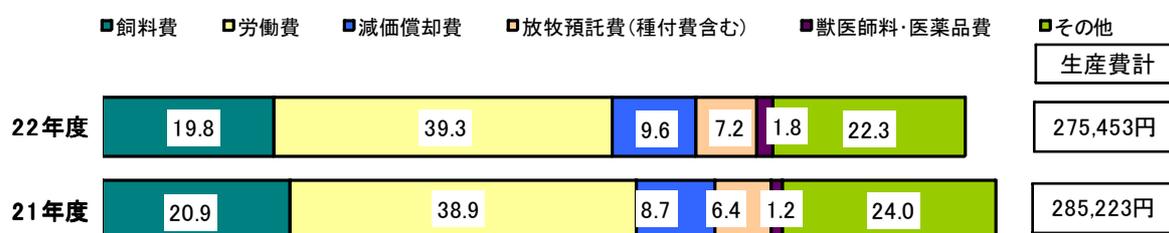


表1 日本短角種の子牛1頭当たり生産費の推移

子牛の生産費(出荷子牛1頭当たり)

年度別	経営体数	計	飼料費		労働費	減価償却費		放牧預託費(種付費含む)	獣医師料・医薬品費	その他		
			購入	自給		繁殖雌牛	繁殖雌牛					
22年度	17	275,453	54,639	41,450	13,188	108,226	26,406	7,128	19,734	5,082	61,365	
21年度	19	285,223	59,594	45,820	13,774	110,872	24,804	6,263	18,134	3,417	68,402	
飼養規模別	1～4頭	5	411,231	57,834	29,679	28,155	238,203	19,137	8,792	25,149	6,249	64,658
	5～9頭	7	399,520	55,536	33,530	22,006	192,779	48,800	11,807	34,922	8,854	58,629
	10頭以上	5	236,527	54,215	44,134	10,081	79,298	21,417	5,882	15,688	4,088	61,821

注1：飼養規模別は繁殖雌牛の飼養頭数である。生産費の計は、支払利子及び支払地代を含む。

注2：経営体数は繁殖経営16戸に繁殖・肥育一貫経営の繁殖部門1戸を加えた17戸である。以下、同様。

2 肥育牛生産費

日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費は、平成22年度は、624,547円となっている。内訳をみると、飼料費が40.2%、もと畜費が21.8%、労働費が15.2%、減価償却費が3.7%、その他が19.1%となっている。前年度と比べて、特にもと畜費が子牛価格の低下により減少している。

なお、1頭当たりの所得は、76,350円となっている。前年度（33,853円）と比べて、肥育牛の販売価格は低下したものの、もと畜費の減少が生産費総額を大きく押し下げたことから1頭当たりの所得は増加した。

平成22年度の1頭当たりの所得は、76,350円＝605,994円－（624,547円－94,903円）
 1頭当たり所得は、粗収益（肥育牛販売価格）－（生産費総額－労働費）により算出

図2 日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費の推移



表2 日本短角種の肥育牛1頭当たり生産費の推移

年度別	経営体数	計	飼料費		もと畜費	労働費	減価償却費	その他		
			購入	自給						
22年度	19	624,547	250,783	230,382	20,401	136,368	94,903	22,957	119,536	
21年度	18	689,373	253,003	229,086	23,917	191,323	94,954	22,601	127,491	
飼養規模別	1～10頭未満	2	637,677	153,660	102,237	51,424	116,229	180,895	10,461	176,431
	10～20頭	2	705,227	240,432	205,939	34,493	73,529	172,063	33,884	185,319
	20～30頭	3	697,783	250,598	209,691	40,907	172,975	129,857	29,461	114,892
	30～50頭	3	725,783	255,055	229,789	25,266	129,601	126,112	44,198	170,817
	50～100頭	5	580,927	243,771	227,971	15,800	100,775	98,537	20,709	117,135
	100頭以上	4	612,653	256,970	239,719	17,251	156,955	74,189	18,522	106,017

注：飼養規模別は肥育牛の飼養頭数である。生産費の計は、支払利子及び支払地代を含む。